

令和4年度 牧之原市議会

議会広報特別委員会視察研修報告書

視察日 令和5年2月2日（木）～ 2月3日（金）

視察先 ◇大阪府八尾市議会（議会広報について（議会だよりについて））

◇株式会社 三晃社（株式会社 三晃社コミュニケーションデザイン）（冊子等の制作に当たっての留意点等について）

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 原口 康之

研 修 名	令和4年度 牧之原市議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和5年2月2日(木)～2月3日(金)
研 修 先	(1) 大阪府八尾市議会 (2) 株式会社 三晃社 (株式会社 三晃社コミュニケーションデザイン)
研修の目的	(1) 大阪府八尾市議会：議会広報について (議会だよりについて) (2) 株式会社 三晃社：冊子等の制作に当たっての留意点等について
	(1) 大阪府八尾市議会：議会広報について（議会だよりについて） やお市議会だよりについて以下 1, 概要について 2, やお市議会だよりについて 3, 広報に関する取り組みについて 4, SNSの活用について 5, そのほかの広報について の5件について八尾市議会事務局議事政策課から説明を受けた。八尾市は、大阪府中央に位置し東側は生駒山系を境に奈良県に接している平成30年4月1日に中核市となった。産業については、中小企業を中心に高度な技術力と製品開発力を誇る「ものづくりのまち」全国トップクラスの出荷額の歯ブラシ生産をはじめ金属製品や電子機器など先端技術に至るまで、匠の技が光る。製造品出荷額は府内で4番目の規模である。市議会だよりについては人口約26万人に対し1回の発行、143,500部、定例会ごとの年4回、ページ数は12～16、5月の臨時号については4ページで市政だよりと合冊で発行している。また、配布方法も印刷業者から宅配業者へ直接全戸配布されている。市障がい者福祉協会などへ点字と声の市議会だよりも同様に年5回、1回各50部発行している。令和4年7月に開会された中核市議会議長会での第14回議会報コンクールで、平成30年発行の「やお市議会だより 12月定例会号」が優秀賞を受賞した。また、平成29年度から「市議会×高校生プロジェクト」と題したコラボ企画やMeet&Greetと題した高校生との座談会を開催し、議会広報に関する忌憚のない意見をもらい多くの方に興味を持ってもらえやすく

わかりやすい議会だよりの紙面に反映させている。議会だより編集委員は、副議長を委員長とし、各会派から所属委員会を考慮し1名を選出任期については1年で発行までに3回の編集委員会を開いている。視察研修の報告として、人口26万人を超える中核市と言う事で一般会計が1200億円を超えていたり、全戸配布に宅配業者へ委託したり財源的に比較は難しいが、編集委員の任期が1年であったり3回の編集委員会で発行したり、編集委員会事務局が3人いたり事務局が作成した紙面と掲載内容の原稿やそのレイアウトチェックが議員に任されている部分のようだ。記事原稿の選択肢などは事務局が行っているが、①高校生とのコラボ企画での表紙の題字募集、美術部・書道部の活動写真掲載②議会や議員に対するアンケートを行いその疑問に対し手議員が回答を掲載③レイアウトなども高校生の目線の意見を参考④編集委員（議員）が学校へ訪問しインタビューや写真撮影を行っているなど牧之原市議会広報特別委員会として検討していける部分も多いと感じた。しかし、議会だよりの掲載内容は、ほぼ同じで見せ方に違いがあると思う。（八尾市議会事務局議事政策課は専門専属スタッフ3名）

（2）株式会社 三晃社（株式会社 三晃社コミュニケーションデザイン）

：冊子等の制作にあたっての留意点等について

株式会社三晃社は、名古屋に本社を置く老舗の総合広告代理店で、コミュニケーションデザイン長谷川 聡氏と金子 岳司氏以下2件について説明を受けた。

- ① プリント媒体制作の基礎デザインソフトについてアドビソフト・PDF・印刷における色・書体・著作権・肖像権などの基礎知識の説明を受けた。著作権と肖像権については写真とイラストなど記事作成に当たっては注意が必要だ。
- ② グラフィック（印刷物）の制作の流れ主に企画、ラフ制作打合せ（内容、スケジュール）について説明を受けた。直接、議会だよりの作成には必要か疑問だがプロのグラフィックデザイナーの目から見た特定の文字が多いことや色使い・スペースなど校正する上でのセンスが問われ個人見解も問われ個人のスキルアップが必要と考えるがどこまでやるかのバランスと見極めが必要。最後に牧之原市議会だより「かけはし」のいい所を聞いたとき文字も大きく見やすいと褒められた。リップサービスだと思われるが誰にでも見やすい紙面を目標に作ってきたのでプロの目にも伝わっているのでその部分は素直に喜びたい。

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 種茂 和男

研 修 名	令和4年度 牧之原市議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和5年2月2日(木)～2月3日(金)
研 修 先	(1) 大阪府八尾市議会 (2) 株式会社 三晃社 (株式会社 三晃社コミュニケーションデザイン)
研修の目的	(1) 大阪府八尾市議会：議会広報について (議会だよりについて) (2) 株式会社 三晃社：冊子等の制作に当たっての留意点等について
<p>(1) 大阪府八尾市議会：議会広報について（議会だよりについて）</p> <p>問い；大阪府八尾市議会：議会広報に「議会だより編集委員会」（7名で構成）で対応していますが編集作業をどのように行っていますか 答：委員会構成は副議長ほか各会派より1名の7名で構成しています。編集委員会では、原稿案をもとに、委員は見やすく伝わりやすい誌面を目指し、記事の配置場所や見出しをどうするか、レイアウトや文章について協議していますが、編集方針に基づき事務局で作成しています。</p> <p>問い：議会だよりの編集マニュアル等がありますか 答：考え方として「伝える誌面づくり“から”伝わる誌面づくりへ」わかりやすい誌面づくりを目指しています。あとは文字・空間・写真・イラスト・図などのバランスがとれた誌面づくりを考えています。</p> <p>問い：市議会×高校生プロジェクトについて どの様な取り組みですか 答：高校生とコラボしてさまざまな取り組みを行っています。主な取り組みの内容は市議会だよりの表紙・題字を高校生部活の作品や活動写真を表紙として採用しています。また表紙に参加していただいた学生へのインタビューを編集委員がおこない、市議会が身近に感じてもらえるように交流を図り、裏表紙に記事として掲載しています。</p>	

(2) 株式会社 三晃社：冊子等の制作に当たっての留意点等について

問い：プリント媒体制作の基礎講話 グラフィック制作における簡単な用語解説は

答：グラフィック（印刷物）の制作の流れには9つの主な流れがあります。1，オリエンテーション 2，企画 ラフ制作 3，プレゼンテーション 4，打合せ（内容・スケジュール） 5，デザイン制作（デザインレイアウト・コピー・撮影・取材等） 6，文字校正 7，色校正（簡易校正・本紙校正、本機校正） 8，校了（内容OKの事） 9，印刷・加工 納品の流れになります。

問い：プリント媒体制作の基礎は

答：プリント媒体制作の基礎にはアドビはデザイン・印刷・映像制作・WEB制作の現場においてなくてはならないソフトです。デザインの四種の神器はイラストレーター・フォトショップ・アクロバットプロ・インデザインが制作にはこの四種の神器が必要です。

問い：写真データ処理に必要なソフトは

応え：主に3点挙げられる1，「JPG」は画像圧縮保存形式。2，「PSD」はフォトショップの専用保存形式。3，「GIF」は画像を軽くする保存のひとつ主にこの3つが写真を軽くしてホームページに使われる。

問い：グラフィック制作における著作権について

答：一番注意して欲しいのは著作権フリー素材です。特に注意することは使用するとき「利用規約」を必ず確認することです。著作権フリー素材と言ってもかかってに改変しないことです。（同一性保持）改変したために費用を発生することがあります。

問い：市議会だより「かけはし」にアドバイスが有りましたらお願い致します。

答：袋文字は強調、アクセントをつける時によく使いますが、少し多く使用を感じます。あまり使いすぎると読みにくく成っている気がします。

問い：文字等の色使いは

答：一般質問等の問い・答の丸の中の問い・答の色を変え、変化を付けるほうがいいのかな？今後委員会で検討する。

問い：全体的なご指摘として何かありますか？

答：一般質問の質問者の写真の下の文字の傾き、空きスペースを埋めるためのよう感じる。この部分だけ傾いているのは違和感がる。またそれぞれのページの見出しの工夫も必要かな？コーナーごとの色を決め、同じテーマのページに色の一体感を持たせたらどうですか。また一般質問の人物写真のいれかたも正面を向いて、顔だけよりも上半身を切り抜きで、動きのある写真のほうが良いのかな？検討してください。

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 加藤 彰

研 修 名	令和4年度 牧之原市議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和5年2月2日(木)～2月3日(金)
研 修 先	(1) 大阪府八尾市議会 (2) 株式会社 三晃社 (株式会社 三晃社コミュニケーションデザイン)
研修の目的	(1) 大阪府八尾市議会：議会広報について (議会だよりについて) (2) 株式会社 三晃社：冊子等の制作に当たっての留意点等について
<p>● 目的</p> <p>牧之原市議会基本条例では「議会広報の充実」(第16条)を挙げている。この度、議会と市民とのコミュニケーションツールの1つ「議会だより」を改善するために調査研究を目的に、まず、市議会だよりの表紙・題字を高校の部活の作品や活動写真を表紙として採用するなどの取り組みを行っている八尾市議会と、あと、議会だよりの制作にあたっての留意点などを具体的に検討するために、(株)三晃社コミュニケーションデザイン(名古屋市中区)を視察した。</p> <p>■八尾市の概要</p> <p>・人口：262,740人(R4.7.1現在)・世帯数：127,101世帯・市域面積：41.72km²</p> <p>● やお市議会だより(主な特徴)</p> <p>・受賞歴：第14回中核市議会報コンクール優秀賞受賞(R元.7.30実施)・発行形態：市政だよりと合冊(H11年3月定例会号より)・世帯への配布方法：印刷業者→宅配業者→全戸配布(※配布は市政だより担当課が委託契約)R3年度月額203万4,120円)</p> <p>● 内容</p> <p>・説明者 議会事務局職員(2人)</p> <p>1. <u>広報に関する取り組みについて</u></p> <p>① 経費：印刷製本費6,188,000円、フォントライセンス料ほか452,720円 計6,640,720円</p> <p>② 編集委員会について：7名、原稿案は事務局作成し、委員は、レイアウトや文章の確認等→発行(各定例会翌月20日)</p>	

③ 高校生とコラボした取り組みについて：18歳選挙権や主権者教育への対応とともに、高校生の意見を議会だよりに反映したいこと。また、市内5校の高校側の事情（魅力ある学校のPR等）と合致して取り組みが始まる。

2. SNSの活用、その他の広報について

・スマホ用アプリ「マチイロ」での配信については、ユーザー数の推移や年代ごとの性別分布、興味ある分野などまとめている。議会の見える化やより多くの市民が議会の活動を知り興味などを持ってもらうことを目的としている。

■(株)三晃社コミュニケーションデザイン

● 場所：名古屋市中区

● 内容

・説明者 代表取締役社長：長谷川聡（中京大学非常勤講師ほか）、取締役：金子勝（主な仕事は、愛知トヨタ、名古屋大学、ACジャパン等）

1. プリント媒体制作の基礎について

① デザインソフトについて：アドビはデザイン・印刷・映像制作・WEB制作の現場でなくてはならないソフト。

② アドビバージョンによって起きる不具合：データは基本同じ環境で作業。

③ PDF、写真データ、印刷における色、書体データについて：PDF送稿が増えていることや、JPG・PSD・GIFなど、また、一般のカラー印刷やディスプレイなどで使われる色のこと、画像データの色の変化や見られないなど注意点と、文字化けについて解説。

④ 著作権フリー素材について：利用規約の確認や、同一性保持の解説。

⑤ 二次使用について：制作したパンフなどホームページ等で掲載する場合は、事前にデザイン制作者に使用範囲・使用期間を確認すること。

2. グラフィック制作の流れ（オリエンテーション→企画、ラフ制作→プレゼンテーション→打合せ→デザイン制作→文字校正→色校正→校了→印刷・加工→納品）

※上記流れの中から企画、ラフ制作と打合せ（具体的には「名古屋大学プロフィール」の制作の流れ）について説明を受ける。この中で特に、担当者にヒアリングし全体のテーマを決定のうえで、内容概要を固めながら全体のページネーションを作成、また、表紙ラフ案の提案が重要とのこと。また、牧之原市議会だよりについては、参考に他市「市議会だより」を例にしながら気になったところなど意見（袋文字が多い、文字の色、文字の傾き、見出しの工夫、写真の入れ方など）を頂いた。

■感想等

やお市議会だよりでは、高校生から議会広報に関する意見を誌面に反映することで、より見やすい議会だよりを作成。この取り組みは特に参考としたい。また、(株)三晃社の「プリント媒体の基礎」に関して、著作権（財産権や人格権等）と二次使用のことや、「グラフィック（印刷物）の制作の流れ」では、制作物の設計書となる全体のページネーションを作成することの意味（事前準備を整えることが制作には大切）を知れたことや、本市議会だよりに関して、専門家から頂いた意見は大変参考になった。

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 名波 和昌

研 修 名	令和4年度 牧之原市議会議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和5年2月2日(木)～2月3日(金)
研 修 先	(1) 大阪府八尾市議会 (2) 株式会社 三晃社 (株式会社 三晃社コミュニケーションデザイン)
研修の目的	(1) 大阪府八尾市議会：議会広報について (議会だよりについて) (2) 株式会社 三晃社：冊子等の制作に当たっての留意点等について
<p>(1) 八尾市議会</p> <p>八尾市議会たよりは、昨年全国中核都市議会たよりコンクールで優勝賞を受賞している。受賞の大きな理由は平成29年から行った「市議会・高校生プロジェクト」による紙面の大きな改変であった。「伝える紙面づくりから、伝わる紙面づくり」に編集方針を大きく転換したことも要因であったと推察する。</p> <p>高校生とのプロジェクトは、ひとつは選挙権が18歳以上となったことがきっかけであり、良いタイミングであったと感心する。また、従来はあまり外に出ていかない市議会議員がこのプロジェクトにより、学校等に積極的に出向き市民との距離を縮めている活動や議会開会前にはポスターを作成し庁舎・駅・関係機関に貼付し広告していることも先進例ととらえた。また、「点字」バージョンも作成しており、障がい者への配慮も参考となった。</p> <p>紙媒体のみならず、SNS (Twitter、facebook) の活用も進めているが、こちらは、少し苦戦しているようだ。</p> <p>今後当市の議会たよりも「伝わる紙面づくり」をキーワードに誌面づくりをしていく必要性を痛感した。</p> <p>(2) ㈱三晃社</p> <p>誌面づくりについて留意点や当市の議会だよりに関する改善点等をご指摘いただいた。</p> <p>誌面の基礎知識として色使いは、シアン・マゼンダ・イエロー・ブラックがデであること、この場合PCでは色合いを正確に閲覧できないこともあるとの</p>	

こと。

プリント媒体の注意点では、著作権フリーでも使用方法（個人的かどうか）によって規約違反になることもあり、「利用規約」はしっかりと確認する必要がある。また映り込んでいる著作物にも肖像権がある場合があるので確認する必要性を説明いただいた。また、書体データは「モリサワ パスポート」が製作現場では活用されていることも初めて知った。

「かけはし」については、文字の大きさが読み手に配慮されており、良い点であること、袋文字が多いことや色使いには改善点が多々あると、一般質問の議員写真は「顔」だけでなく、上半身写真のほうがアピールしやすいのではないかとのご指摘をいただき、あらためて気づいた。

また誌面作成には「ページネーション」いわゆる誌面設計図をしっかりと作りこんでいくことの重要性を教示いただいた。

<総括>

八尾市議会の大きな改定契機、広告専門会社の専門基礎知識を教示いただき、今後の誌面づくりに大きなヒントになった。当市も「伝わる議会だより」にむけて、進めていきます。

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 絹村 智昭

研修名	令和4年度 牧之原市議会議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和5年2月2日(木)～2月3日(金)
研修先	(1) 大阪府八尾市議会 (2) 株式会社 三晃社 (株式会社 三晃社コミュニケーションデザイン)
研修の目的	(1) 大阪府八尾市議会：議会広報について (議会だよりについて) (2) 株式会社 三晃社：冊子等の制作に当たっての留意点等について
<p>(1) 議会広報(議会だより)について大阪市八尾市議会に出向いた。やお市議会だよりの概要は、年5回の発行(1回143, 500部)、市内全世帯、各施設、庁内等へ配布している。また、令和元年7月30日実施の第14回中核市議会報コンクールでは優秀賞を受賞している。受賞の経緯は平成29年度から、「市議会×高校生プロジェクト」と題した高校生とのコラボを企画し、若い世代が議会への興味・関心を高めるため、市議会だよりの表紙に学生の美術作品や活動写真を掲載するなどの取組を進めてきた。また、高校生との座談会を開催し、高校生から議会広報に関する意見をもらい、誌面に反映することで、より見やすくわかりやすい議会だよりを作成し、多くの方に興味を持ってもらえるよう進めてきている。高校生が作成した議会だより表紙は、人の目を引き、手に取りたくなる斬新な表紙であった。牧之原市議会広報特別委員会でも何かをターゲットとした議会だよりの検討も必要かと感じました。</p> <p>(2) 愛知県名古屋市の(株)三晃社へ冊子等の制作に当たっての留意点等について伺った。まずは、プリント媒体制作の基礎について説明があった。著作権フリー素材では使用する場合は、必ず「利用規約」を確認する。写真掲載における肖像権の確認(バックの映像も含む)をする。制作にあたっては、準備が十分にできていれば制作はスムーズに進む等、説明いただいた。牧之原市議会だよりでは、袋文字(強調したり、アクセントをつける字)が多い、「問」と「答」どちらかを白抜きに、色の差をつけてみては、文字の傾きに違和感、コーナーごとの色を決め、同じテーマのページに一体感を持たせては、顔写真よりも上半身の写真の方がよいのでは等、ご意見をいただいた。ご指摘された点をしっかり受け止め、これからの委員会活動に反映し、より良い議会だより「かけはし」できればと思う。</p>	

視察研修報告書

牧之原市議会議長 様

氏名 石山 和生

研 修 名	令和4年度 牧之原市議会議会広報特別委員会視察研修
研修の期間	令和5年2月2日(木)～2月3日(金)
研 修 先	(1) 大阪府八尾市議会 (2) 株式会社 三晃社 (株式会社 三晃社コミュニケーションデザイン)
研修の目的	(1) 大阪府八尾市議会：議会広報について (議会だよりについて) (2) 株式会社 三晃社：冊子等の制作に当たっての留意点等について
<p>八尾市については、広報誌の枠を超えた広報活動に対して高校生との意見交換などが印象的であった。SNSなどのツールなども用いて様々な活動が行われていることはとても良いことだとは思いますが、SNSのフォロワーはまだまだ少なく、SNSをわざわざ牧之原市議会が行う必要があるかは疑問であった。</p> <p>高校生との対話もいいが、そもそも市民の議会へのニーズはなんなのか、そのニーズに答えられている広報誌であろうかという論点の方が私は重要と考えている。市民への議会ニーズについて今度議論ができれば深めていきたい。</p> <p>株式会社三晃社様に関しては、わざわざ牧之原市の広報のフィードバックをいただくことができた。直接的にフィードバックがいただけたので生かしていく必要があると思う。</p>	